



# 芽室町コミュニティ・スクール（CS）通信

平成31年 4月26日

かなえよう

No.2

芽室町教育委員会

## 地域とともにある学校づくりに欠かせない機能の一つである「熟議」とは…

1 「熟議」～目指す子供像などの目標やビジョンを学校と地域が共有すること。

【具体的なプロセス】



- ① 多くの当事者（保護者、教職員、地域住民等）が集まり、
- ② 課題やビジョンについて「熟慮」し「議論」することにより、
- ③ 互いの立場や果たすべき役割への理解が深まるとともに、
- ④ それぞれの役割に応じた解決策や方策が洗練され、
- ⑤ それぞれが納得して自分の役割を果たすようになる。

2 昨年度CSの準備に向けて熟議や協働の工夫を図った町内学校の事例

### ★ワークショップ型の熟議の展開（芽室中学校）

#### 熟議の様子



教職員のワークショップによる熟議を通して、芽室中学校の生徒に身に付けたい力は何かを焦点化してきました。その他、教職員とPTA代表、地域代表との熟議を重ね、新年度の目指す生徒像を明らかにしていきました。目標の共有化や課題解決に向けて本音で語り合う中で、役割分担や互いの立場の理解などが深まりました。

#### 協働の様子

### ★「農園活動」（芽室南小学校）

#### ～JA めむろ青年部新生支部との交流学習

芽室南小学校では、例年4年生を対象に上記青年部との交流学習を行っています。この交流学習は、15年近く続いており、芽室町の基幹産業である農業について、直接体験をしながら理解を深めるとともに、世代間のつながりも深める大切な学習となっています。



昨年度は、さつまいもと小豆の植え付け、観察、収穫、調理等の学習を年間を通して行い、児童はもとより、青年部の皆さんの笑顔も輝いていました。本年度も、農業王国めむろの素晴らしさを実感し、故郷への誇りと愛着心を育む活動を工夫していく予定です。

2 地域とともにある学校づくりに期待される効果

- ① 保護者や地域住民等も子供たちの教育の当事者となり、責任感をもって役割分担をしたり、積極的に子供たちの教育に携わったりすることができるようになります。
- ② 保護者や地域住民等の学校運営や教育活動への参画は、子供の自己有用感や生きがいにつながるとともに、学校における子供たちの学びや体験が充実します。
- ③ 地域の課題解決に向けた取組や大規模災害時の緊急対応等に、学校と地域が一体となって取り組むことができ、学校力と地域力が高まります。